

## R体 $\alpha$ -リポ酸包接体の抗糖化提案の ほか新型トコトリ原料を投入

### シクロケム

シクロケム(本社神戸市)は、エイジングケア素材としてこれまで包接化CoQ10を主軸に展開を進めてきたが、今後はさらにR体 $\alpha$ -リポ酸包接体を併用摂取することで、健康ならびに美容効果が高まることも訴求していく。さらに植物のアナトー豆から抽出された新型トコリエノールの包接化原料開発にも着手しており、年内にも展開を開始する。

同社が最近エイジングケア素材として注力しているのがR体 $\alpha$ -リポ酸包接体。「これまでは抗酸化をキーワードに包接化CoQ10を中心に複数の研究を進めてきた。R体 $\alpha$ -リポ酸包接体は抗酸化ネットワー

クの要になるだけでなく、抗糖化でも優れた効果が期待できる」という。市場には複数の抗糖化原料があるが、R体 $\alpha$ -リポ酸包接体は、糖代謝を促進させて糖化の要因のひとつとなる余分な糖質が体内のタンパク質に付着して変質することを防ぐ働きが期待されるという。このほか $\alpha$ -リポ酸自体には自律神経系の安定に働きかける効果が海外で報告されている。

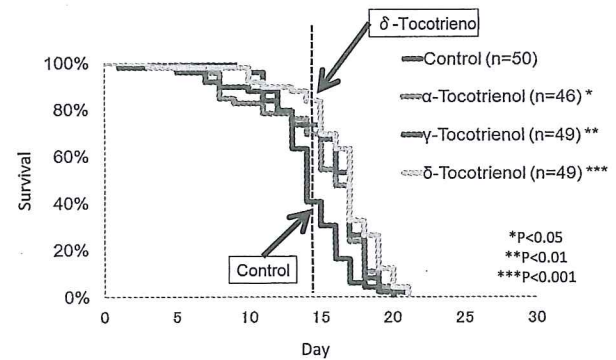
「これまで人のフィジカル面に着目し研究を進めてきた、最近ではメンタル面のケアも重要なことに気付いた。市場もメンタルケアを含めたエイジングケアの重要性が見直されてきており、この分野での商品開発にも注力していく」。そのため同社ではR体 $\alpha$ -リポ酸包接体のほかに $\gamma$ CD包接「SAmE」含有酵母やビタミンB群、システイン、トリプトファン等の原料に着

目しており、こうした成分を組み合わせたメンタルケアの商品を開発中。年内にも関連会社のコサナから発売する予定でいる。

このほか新原料のアナトー豆由来のトコリエノールは、すでに大阪市立大学の西川教授との共同研究で線虫の延命効果を確認済。このアナトー由来のトコリエノールは、 $\alpha$ (アルファ)、 $\beta$ (ベータ)、 $\gamma$ (ガンマ)、 $\delta$ (デルタ)の4種類で構成される通常のトコリエノールと比較してデルタトコリエノール90%、ガンマトコリエノール10%で構成されているのが特長。すでに海外ではDNA損傷防止、

抗炎症効果、冠動脈疾患予防、フリーラジカル減少、LDLコレステロール予防、がん予防、皮膚の色素沈着防止などが研究されている。「包接化することで安定が高まり、吸収性も高まる。年内にも供給を開始したい」としている。

線虫の寿命に及ぼすトコリエノール各型の影響



線虫の寿命に及ぼすトコリエノール各型の影響: 15日後のコントロール群の生存率は40%であったが $\delta$ -トコリエノール群は82%生存している。